

喜びを伝える仕事。

「Djembe-fola」 解釈はそれぞれ。人によつては、

ジエムベの名手とか、200~300のリズムを全^て言^ひこ^きこ^えする

達人だとか、人によつては、「ジエムベをたたく人」はみな

ジエムベフォラだとか、僕の勝手な解釈では、

祭り頭、火つけ役、盛り上げ隊の様に思^ひこ^えこ^える。

バリエアフリカンや、パーカッション、デ・モニー等^で活躍^して

いるグラン・クンバタン・コンテ氏は、ジエムベフォラ =

コメテリアンと言^ひこ^きこ^えた。お^のれ^が一番^しっ^くり来た。

サイオン・カマラ氏はジエムベの伴奏アコムバイマンは、

“ン・バラッセリ ン・バラッセリ ン・バラッセリ”と

私は幸^せせだ^い!! 幸^せせだ^い!! 幸^せせだ^い!! と言^ひこ^きこ^える

と言^ひこ^きこ^えたが、そんな^に幸^せを^実感^した^らい^たた

い^ここ^にいる^し。周りの人もお^のれ^がと^きに幸^せせだ^い。と思^ひこ^えた。

例^えば、日本^でも、アフリカ^でも、演奏^して喜^びも^うたり

みんなが踊^りま^つり^こな^り、と^やく様^は、と^きも^この^けで

で、ユ-モラス^で、エネルギー^にあ^らわ^れこ^える。明日^の活^力。

やる^気に^なる^に、と^やく様^は、本^当に、演奏^して^いる^人も。

す^くす^く幸^せせたり、エネルギー^の交^換に^自然^とと^きに^この^け。

だから、言葉もいらない位、お互いに感謝に次へと
つなげてゆける。お金とか、名誉とかでは全くない
ところが、この音楽のすばらしいところの一つでもある。

踊る人が出てきておどり、それを見て、たまたま飛び出し
て来る人、その人たちにジエンバでありがとー!! 幸せだー!!
と連打するなんぞ、なんとも原始的で本能的な遊び
なんだろう! しかも、電力は使わない。

今までは、ずーっと人の作ったエネルギーを消費に生きて
きたが、これからは、自ずから発電、発信、発酵しながら
人間らしく生きていきたい。

50オマビにまともな農が出来る様になった。今年は
これっぽちもできなくて、スーパー自己嫌悪だった。が、
勝手に自分ルールを決めて、勝手に焦って、バカだなあ
つくづく思った。急いでも結果は出ない。

しかも、解、ちやいるのに、いつのまにか勝手に失念のドン
底へ、勝手に故意で落ちてゆく。こんなにも幸せな
イスのなかにいても、そんな想いからも解放してくれた
Djembéにいつでも感謝していた。そして、Djembé
で人の役に立ちたい、どんなに自分がダメ人間でも、幸せ
だ! 幸せだ! と言え、ジエンバをたたいた。

いつもこの気持ちを忘れないで感謝にたたいた。